



豊岡市立新田小学校・幼稚園



にっ た

新田小ホームページ 「豊岡新田小」で検索

あけまして おめでとうございます

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかに令和3年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年もよろしくお祈りします。

本日、子どもたちは11日間の休みを終え、元気よく新年最初の登校をしてきました。コロナウイルス感染症予防のため、外出を控えたり親戚等に会えなかったりするなど、いつもと違う少し窮屈な冬休みだったかもしれませんが、それでも子どもたちは、年末年始ならではの様々な体験をしたことと思います。一人一人の顔を見ると、充実した冬休みを過ごした満足感と「今年もがんばるぞ」という意欲を感じました。

今年もコロナウイルスの影響で学校行事等が通常どおりできるのか心配な状況がありますが、最大限の感染予防をしながら、子どもたちの学力向上ややさしくたくましい心の育成、健やかな体づくりをめざし、全教職員が一丸となって取り組む所存です。本年も保護者や地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。



書き初め大会 1月8日(金)

冬休みの練習の成果を発揮して、納得の文字を書いてほしいと思います。集中あるのみ！

1年生「お正月」 2年生「新しい年」 3年生「生きる力」
4年生「元気な声」 5年生「心を開く」 6年生「希望の朝」

※1・2年生は硬筆 3～6年生は毛筆

※書き初め展(12日～22日)は、コロナウイルス感染症予防のため、ホームページでの公開とします。

1月 行事予定

感染症予防(マスク着用、手洗い、3密の回避など)に努めよう！

- 6日(水) 始業式 あいさつデー 校外児童会 11:20 下校
- 7日(木) 給食開始 身体測定 13:30 下校
- 8日(金) 書き初め大会 13:30 下校
- 12日(火) 書き初め展(～22日) ※ホームページでの公開
縦割り班掃除開始
- 15日(金) 安全の日 1・17メモリアル集会
- 22日(金) 委員会活動 豊岡南中入学説明会
- 25日(月) 代表委員会
- 26日(火) 児童朝会
- 27日(水) 5・6年スキー教室
- 28日(木) 3・4年縄跳び大会
- 29日(金) 2・5年縄跳び大会
クラブ活動(3年生クラブ見学)



2月の主な予定

- 1日(月) 新1年生入学説明会
- 6日(土) オープンスクール
- 8日(月) 6日の振替休業日
- ※コロナウイルス感染症拡大状況によって変更になることがあります。

学校園だよりに載せられなかった学校の様子もホームページの学校ブログで紹介しています。また、このたよりもカラーで見ることができます。

3学期の学校行事等について

3学期も卒業式をはじめ様々な行事があります。コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、次のような考えで行事を行います。

学校で一番大切なことは、「安全・安心」です。

学校は「命」を預かっています。したがって、感染リスクを最小限にすることは学校の使命です。通常の教育活動は児童と教員だけですが、外部から学校に人が集まることはそれだけ感染リスクが高くなります。3学期もオープンスクールを予定していますが、人数や時間制限等の対策を行いリスクを減らします。

行事は児童の力を伸ばすために行います。

行事はそもそも子どもたちの力を伸ばす教育活動で、保護者の方に見てもらうことを第一の目標としていません。そうは言っても、運動会など、保護者・地域の方に参観や応援していただくことで児童の励みになり力が伸びるのは事実です。しかしやはり今は、コロナウイルスの感染が落ち着くまでは制限するべきだと考えています。なぜなら、上記のとおり学校は命を預かっているからです。

2学期は、子どもたちの力を伸ばすために「ミニ運動会」「持久走記録会」等を行いました。無観客にさせていただき動画で配信しました。見学したいというご意見もお聞きしましたが、感染リスクを最小限にし命を守るためです。学校も苦渋の決断です。ご理解ください。

3学期も行事は感染症対策を徹底し実施方法を考えて行います。例年どおりできるようになることを切望しながら、今はマスク着用や手洗いなど感染症予防を地道に行うのみです。

★行事についての詳しいことは通知文やメールでお知らせします。

コミュニケーション教育

演劇的手法を授業に取り入れているのは、なぜ？

豊岡市の小中一貫教育が始まって4年目になります。この教育は、小学校と中学校の生活指導や学習指導について連携を深めるとともに、小・中9年間を通した「英語教育」「ふるさと教育」「コミュニケーション教育」の3つを柱としています。

そのうち、コミュニケーション教育では、小学校6年生と中学校1年生を主な対象として、演劇的手法を取り入れた授業を行っています。

コミュニケーション能力は、子どもたちの学びや生活を支える基盤です。特別な支援を必要とする子どもたちを含め、他者を理解し、人とのかかわりを通して自分の考えを持ち、人間関係形成能力・合意形成能力・発信力や創造力を育成します。では、なぜ演劇的手法を授業に取り入れているのでしょうか？ 授業を指導していただいている2名のプロ講師から、そのヒントとなる言葉がありました。

劇作家:平田 オリザ 氏

- 「今日の演劇ワークショップでは、話し合っ、結論出して、それを伝えなくちゃいけません。社会に出て自分の意見が通ることなんてほとんどありません。『相手が何を望んでいるかを考えること』これが最も大事です。『相手を理解しながら自分の考えを伝えること』これが折り合いをつけるということです。これからこうした折り合いをつける話し合いをぜひたくさん経験してほしいと思います。(小6の子どもたちに向けて)」

演出家:田野 邦彦 氏

- 「コミュニケーション教育における大切な視点は『表現(結果)』よりも『プロセス(過程)』です。つまり、合意形成の過程、プロセスで起きていることに着目することが重要です。演劇づくりは『合意形成の繰り返し』がその過程に表れます。『複数の他者が関わり、互いの個性や意見の違いを尊重しながら、一人一人が異なる役割を担って、ひとつのものを創り上げる。』つまり、演劇的手法を使った授業は、この合意形成の反復の中で、コミュニケーション能力や、やり遂げる力を育成するのに適しているのです。」

演劇プログラムの中には、様々な困難さが仕込まれています。そこでは小さな失敗も生じます。このような困難さや失敗を、互いに意見を交わし、折り合いをつけ、合意しながら、子どもたちは乗り越えていきます。

豊岡市が、普段の授業の中での話し合いや対話などに加え、小6と中1で演劇的手法を授業に取り入れているのは、こうした経験をとおして、コミュニケーションの力を伸ばすためなのです。



「豊岡市研修センターだより」参照

